

個人質問(3月6日) 青木ともこ議員

8年間も放置 耐震性に問題。アスベスト飛散の危険？
旧西区役所庁舎「すみやかに撤去を」

3月6日の名古屋市議会本会議で個人質問にたった青木ともこ議員は、2010年1月に移転・新築後、8年間放置されたままの旧西区役所跡地問題をとりあげました。

「いつまでこのまま？」「介護や子育て支援施設をつくらせ」

同問題をめぐっては、この間、近隣住民から「いつまでこのままなのか」など不安の声が続出。2013年には地元有志が住民アンケートを行い、最も回答の多かった「介護や子育て支援など福祉施設の設置」「住民意見を聞く機会をつくること」などの要望を市に提出。応じた区長は「特別養護老人ホームなどの社会福祉施設への活用」を明言しました。

しかしその後も進展がなく、住民への説明もないまま、現在に。青木議員は「この間どのような議論や検討が行われたのか。解決に向けた見通しはあるのか」と質問しました。

答弁にたった中田英雄市民経済局長は「福祉関係施設の要望を受け、関係局と調整をすすめている」と述べるにとどまりました。

倒壊すれば、アスベスト飛散の危険？

青木議員は、旧庁舎が築後50年近く経ち、「地震の震動や衝撃で倒壊または崩壊する危険性が高い状態にある」との耐震評価が出ていると指摘。

さらに、旧庁舎には有害なアスベストの使用が確認され、敷地内は地下水が多いために年間を通じて自動ポンプで随時くみ出している、などの問題に触れ、

「『危ないから早く取り壊すべきだ』という声が、近隣住民だけでなく、区内各地で広がっている。まずは、

危険な状態の建物をすみやかに撤去し、周辺の安全を確保することが、住民に対する市の責任ではないか。地震による倒壊・崩壊が起きた場合、アスベストが飛散する危険性はないのか」とたどしました。

これに対し中田局長は「震度5弱程度の地震では損傷の恐れは少なく、倒壊する恐れはない。地震の規模や長さ、地盤の状況等により建物への影響は様々なので、一概には答えられない」と述べました。

ただちに住民の疑問に答える場を設けよ

青木議員は、地元住民に対して公式な説明を一度も行っていない、市の姿勢を厳しく批判。「西区役所跡地を取り巻く課題について、情報を積極的に公開し、地域住民の疑問に答えていくべきだ」と求めました。

中田局長は「地域から福祉施設設置の要望を受けており、要望に沿えるよう調整を進めていきたい。売却決定の際には、跡地利用の方向性を地元へ報告する」と答弁しました。

青木議員は「売却決定は一体いつになるのか。」関係局との調整”に、これだけ時間がかかっているのだから、何が課題になっているのかを地元住民に明らかにし、住民との意見交換の場を設けることが必要だ」と強調。さらに、「安全上問題がある旧庁舎についても、地域の意見や要望を聞きながら、真摯に対応してほしい」と述べ、跡地利用の決定がなされるより前に、市の責任で住民説明会を開くよう強く求めました。



旧西区役所庁舎(「Googleストリートビュー」より)

郵付の返信封筒か FAX(532-1476)でご返速ください

区役所跡地の市長に
嬉しい活用を考えるアンケート

●安全上懸念ない建物かを、どうしたか
●跡地の跡地はどのような利用方法があるか
●イメージとして、どんな活用が良いと思うか
●最良な活用方法を挙げてほしい

旧区役所 閉鎖して
もう8年
いつまでこのまま?

日本共産党は皆さまに呼びかけます。

市民に嬉しい活用を考える
アンケートにご協力ください

区役所跡地は数年前から市民に公開されています。近隣のみなさんからは「いつまでこのままのか」との心配の声が聞かれています。区役所跡地の活用を市民から意見や要望を聞きながら、真摯に対応していただく力をあわせていただきます。

日本共産党名古屋市議員団(〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目1-1) 電話 052(972)2071 FAX 052(972)4190 e-mail: n-jcp@n-jcp.jp

日本共産党が現在とりくんでいる「市民に嬉しい活用を考えるアンケート」